

平成31年度

学生募集要項

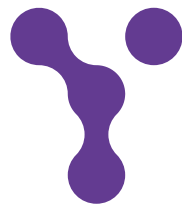
(一般入試)

Web出願を実施しています。

出願期間：平成31年1月28日（月）～平成31年2月6日（水）17時まで

出願期間内に「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。

Web出願サイト：<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

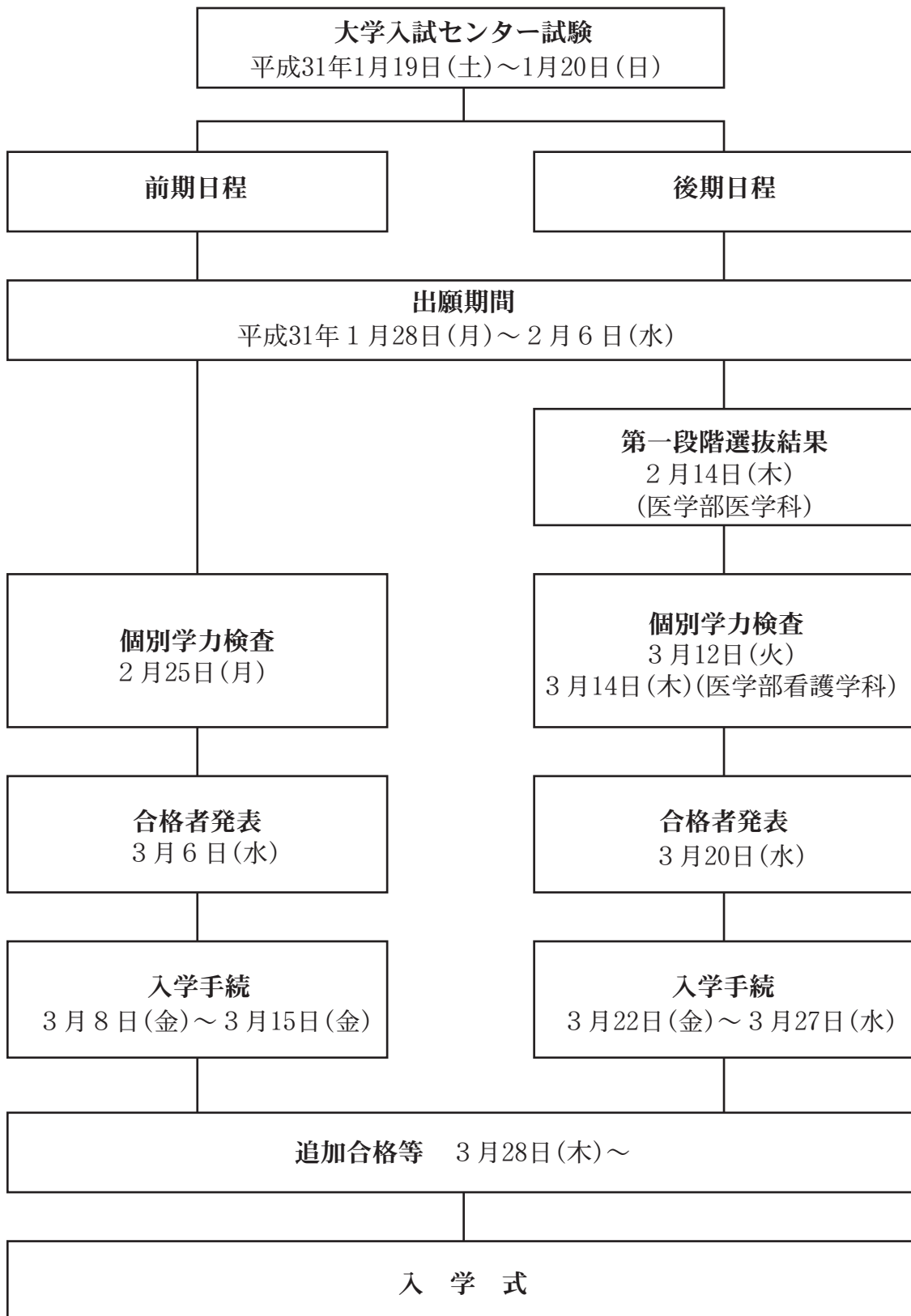


UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

【山梨大学一般入試日程の概要】



- (1) 医学部医学科の一般入試は、後期日程のみ実施します。
- (2) 工学部の前期日程については、東京試験場及び名古屋試験場でも実施します。
詳細は、45 ページを参照してください。

目 次

アドミッション・ポリシー	1
I 共通事項	
1 出願に当たって	5
2 募集人員	6
3 出願資格	8
4 出願手続	9
5 出願期間	12
6 出願書類の郵送先・持参先	12
7 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	12
8 受験票の発送	12
9 試験場	13
10 受験上の注意	13
11 不正行為に対する処置	14
12 大学入試センター試験受験票	14
13 合格者の発表等	15
14 入学手続	16
15 授業料	16
16 その他の経費	16
17 追加合格等	17
18 入試情報サービス	17
19 入試情報の開示	18
20 山梨大学大村智記念基金奨学金制度	20
21 その他	20
II 教育学部（前期日程）	
1 選抜方法	21
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	27
III 教育学部（後期日程）	
1 選抜方法	29
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	34
IV 医学部（前期日程）	
1 選抜方法	35
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	36
3 その他	36
V 医学部（後期日程）	
1 選抜方法	37
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	39
3 山梨県医師修学資金貸与制度の概要	40
4 その他	41
VI 工学部（前期日程）	
1 選抜方法	43
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	45
VII 工学部（後期日程）	
1 選抜方法	47
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	48
VIII 生命環境学部（前期日程）	
1 選抜方法	49
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	51
IX 生命環境学部（後期日程）	
1 選抜方法	53
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	56
山梨大学甲府キャンパス建物配置図	57
山梨大学医学部キャンパス建物配置図	58
山梨大学甲府キャンパス周辺図	59
山梨大学医学部キャンパス周辺図	60
Web出願利用ガイド	

共通事項

教育学部
（前期日程）

教育学部
（後期日程）

医学部
（前期日程）

医学部
（後期日程）

工学部
（前期日程）

工学部
（後期日程）

生命環境学部
（前期日程）

生命環境学部
（後期日程）

(注意)

平成31年5月以降の日程については、対応する
新元号または西暦に読み替えてください。

(問い合わせ先)

山梨大学 教学支援部 入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

(受付時間)

平日(月～金)8時30分～17時

(ただし、休日、祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く。)

《アドミッション・ポリシー》

◇ 山梨大学の理念・目標とアドミッション・ポリシー

[理念・目的]

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

[キャッチフレーズ]

地域の中核、世界の人材

[教育目標]

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

[アドミッション・ポリシー]

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人物を国内外から受け入れます。

[入学者に求める資質能力]

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

▽教育学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

[理念・目的]

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的にしています。

[キャッチフレーズ]

豊かな人間性と教育文化

[教育目標]

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。

[アドミッション・ポリシー]

これからの子どもの成長と発達に高い関心を持ち、教育現場の諸問題に取り組むことのできる情熱を持った教員を目指す人を求めています。そこで、次のような資質と能力を持つ人の受験を期待します。

- ・ 子どもの成長・発達や学校教育に対して高い関心を持っている人
- ・ 自ら深く学ぶため主体的に課題を見出すことができる人
- ・ 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・ 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

[入学前に学習しておくことが期待される内容]

各コースの専門性に応じた教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。同時に、将来教育に携わる者として、子どもの成長・発達や学校教育に対する関心、多様な考えの人たちとのコミュニケーション能力、個性豊かな考えとそれを表現する力を、様々な活動を通して身につけておくことを望んでいます。

▽医学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

[理念・目的]

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。

[キャッチフレーズ]

国民の健康を支える医療人育成

[教育目標]

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する意欲を持った人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指します。

[アドミッション・ポリシー]

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。

- ・ 単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・ 健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・ 疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・ 深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

[入学前に学習しておくことが期待される内容]

医学部の授業内容を理解するためには、各コースの専門性に応じた高等学校における教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。さらに、学科の違いによって次のような違いがあります。

○医学科

医学部で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科科目として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを望みます。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

○看護学科

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

▽工学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

[理念・目的]

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

[キャッチフレーズ]

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

[教育目標]

基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

[アドミッション・ポリシー]

工学部では、「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」をキャッチフレーズとして掲げ「広い教養と深い専門性を持ち豊かな想像力と優れた判断力を備えた将来を担う工学系技術者を養成する」ため、工学技術者となって社会に貢献しようとする意志を持ち、積極的な学習意欲、基礎的学力、論理的思考力・表現力などを有する人を求めています。

[入学前に学習しておくことが期待される内容]

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、社会の内容を十分に理解していることが必要です。希望する学科の専門に関連する内容を理解するだけでなく、自分の言葉で他者とコミュニケーションする素養を持つことを期待しています。

▽生命環境学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

[理念・目的]

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

[キャッチフレーズ]

自然と社会の共生科学の創生

[教育目標]

生命科学・食物生産・環境科学・社会科学に関する実践教育により、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、自然と社会の共生の観点から持続可能で豊かな地域社会を実現できる人材の養成を目指します。

[アドミッション・ポリシー]

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を行うため、自然と社会の共生科学の視点から、生命・食・環境・経営などの諸課題に取組み、解決する意欲をもつ人を求めています。

[入学前に学習しておくことが期待される内容]

生命環境学部では、授業内容を理解するために、学科の専門性に応じた高等学校における教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。さらに、学科の違いによって次のような違いがあります。

○生命工学科

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も望んでいます。入学試験で課している科目について、十分な学力を有していることを期待しています。

○地域食物科学科

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

○環境科学科

高等学校で履修した物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

○地域社会システム学科

普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っていることを望んでいます。入学試験で課している科目の基礎的内容を十分に理解していることが必要です。

I 共通事項

- 1 出願に当たって
- 2 募集人員
- 3 出願資格
- 4 出願手続
- 5 出願期間
- 6 出願書類の郵送先・持参先
- 7 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談
- 8 受験票の発送
- 9 試験場
- 10 受験上の注意
- 11 不正行為に対する処置
- 12 大学入試センター試験受験票
- 13 合格者の発表等
- 14 入学手続
- 15 授業料
- 16 その他の経費
- 17 追加合格等
- 18 入試情報サービス
- 19 入試情報の開示
- 20 山梨大学大村智記念基金奨学金制度
- 21 その他

1 出願に当たって

- (1) 大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目を受験していない方は、本学への出願資格がありません。出願に当たって、本学が指定した大学入試センター試験の「受験を要する教科・科目」を必ず確認のうえ、出願してください。(本学の平成31年度入学者選抜における大学入試センター試験の成績は、平成31年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。)

なお、出願を受理した後に、本学が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合は、受験できません。

- (2) 本学の一般入試は、教育学部、医学部、工学部、生命環境学部いずれも分離分割方式により実施します。なお、医学部医学科の一般入試は、後期日程のみ実施します。

- (3) 併願について

ア 入学志願者は、本学では、異なる学部間及び同じ学部内であっても、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つ、合計2つ出願することができます。

イ 試験日程グループ間の併願については、「前期-前期」、「後期-後期」の併願はできません。

- (4) 他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試合格者及びアドミッション・オフィス入試合格者は、本学を受験しても入学許可は得られません。ただし、特別の事情があり、当該入学志願者の出身学校長から、「入学辞退願」を当該大学へ提出し、平成31年2月19日（火）までにその許可を得て入学辞退を認められた場合は、この限りではありません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

- (5) 国公立大学の前期日程試験に合格し、平成31年3月15日（金）までに入学手を完了した方は、後期日程試験を受験しても、合格者とはなりません。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- (6) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。また、入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法検討資料作成のために利用します。

なお、入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

- (7) 本学では、本募集要項による一般入試のほか、教育学部においては、一般推薦入試、専門学科・総合学科卒業生推薦入試、私費外国人留学生入試、医学部においては、推薦入試、工学部においては、一般推薦入試、専門学科・総合学科卒業生推薦入試、アドミッション・オフィス入試、私費外国人留学生入試、生命環境学部においては、私費外国人留学生入試を、それぞれの募集要項により行っています。

- (8) 入学試験に過去問題を使用することに関して

ア 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

イ 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

ウ 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

- (9) 工学部の前期日程個別学力検査については、東京試験場及び名古屋試験場でも実施します。詳細については、45ページを参照してください。

2 募集人員

教育学部

課程	コース	募集人員		備考
		前期日程	後期日程	
学校教育課程	幼小発達教育コース	15人	5人	
	障害児教育コース	12人	5人	
	言語教育コース	10人	3人	
	生活社会教育コース	15人	5人	
	科学教育コース	18人	6人	
	芸術身体教育コース	8人	4人	
計		78人	28人	
		106人		

(注) 募集人員は、入学定員（125人）から推薦入試募集人員（19人）を除いた数です。

医学部

学科	募集人員		備考
	前期日程	後期日程	
医学科		90人	
看護学科	30人	5人	
計	30人	95人	
	125人		

(注) 募集人員は、入学定員（185人）から推薦入試募集人員（60人）を除いた数です。

工学部

学 科	募集人員		備 考
	前期日程	後期日程	
機 械 工 学 科	37人	8人	「前期日程」では、個別学力検査で受験する教科・科目に応じて、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。(44ページ1(3)「第1志望学科と第2志望学科の組合せ表」参照) 「後期日程」では、全学科の間で、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。
電 気 電 子 工 学 科	35人	7人	
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科	35人	8人	
情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科	35人	5人	
土 木 環 境 工 学 科	33人	7人	
応 用 化 学 科	26人	7人	
先 端 材 料 理 工 学 科	25人	6人	
計	226人	48人	
	274人		

(注) 募集人員は、入学定員(365人)から推薦入試募集人員(83人)及びアドミッション・オフィス入試募集人員(8人)を除いた数です。

生命環境学部

学 科	募集人員		備 考
	前期日程	後期日程	
生 命 工 学 科	30人	5人	「前期日程」では、ワイン科学特別コースを第1志望とする方は、地域食物科学科を第2志望とすることが可能です。
地 域 食 物 科 学 科 ワイン科学特別コース	(13人)	/	
環 境 科 学 科	25人	5人	「前期日程」では、観光政策科学特別コースを第1志望とする方は、地域社会システム学科を第2志望とすることが可能です。
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 観光政策科学特別コース	(13人)	/	
計	130人	20人	
	150人		

- (注) 1 地域食物科学科ワイン科学特別コースの()内の人員は、地域食物科学科の募集人員に含まれます。
 2 地域社会システム学科観光政策科学特別コースの()内の人員は、地域社会システム学科の募集人員に含まれます。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、平成31年度大学入試センター試験のうち本学が指定した教科・科目を受験した方とします。なお、本学が指定する教科・科目については、前期日程（教育学部21～22ページ、医学部35ページ、工学部43ページ、生命環境学部49ページ）、後期日程（教育学部29～30ページ、医学部37ページ、工学部47ページ、生命環境学部53～54ページ）に記載してあります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した方及び平成31年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方及び平成31年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方のうち次の各項目のいずれかに該当する方及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの方
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
 - エ 文部科学大臣の指定した方
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、平成31年3月31日までに18歳に達している方

上記（3）カにより出願する方は、事前に資格審査を受ける必要があります。

① 申請対象者

平成31年度入学者選抜においては、平成31年度大学入試センター試験を受験予定及び受験した方で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する方又は有する見込みの方。

② 申請受付期間

平成31年1月21日（月）～22日（火）

③ その他

申請手続等詳細については、下記までお問い合わせください。

山梨大学教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

4 出願手続

※出願の流れについては、本要項巻末にある「Web出願利用ガイド」を参照してください。

【Web出願の事前準備】

次の①～⑥を用意してください。

- ①インターネットに接続されたパソコン等（スマートフォン、タブレット端末を含む）
- ②A4サイズの印刷が可能なプリンター ③利用登録時に必要となるメールアドレス
- ④顔写真の画像ファイル ⑤362円分の郵便切手（受験票等送付用）
- ⑥出願書類の提出に必要なとなる市販の角型2号封筒（24cm×33.2cm）

（1）出願方法

- ①Web出願サイトから、利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルを登録
- ↓
- ②入学検定料の支払い
- ↓
- ③出願書類の印刷・作成・提出 [出願期間内必着]

※出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも受付期間中に完了していない場合、出願を受け付けすることはできません。

（2）Web出願サイト

以下のURLからアクセスし、画面の案内に従って利用者情報・出願情報の登録をしてください。

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

（3）入学検定料の支払いについて

入学検定料 17,000円

- ・検定料支払画面にて決済方法を選択し、支払手続を行ってください。
- ・全ての支払方法に対して別途必要な手数料は志願者負担になります。
- ・前期日程と後期日程の両方に出願する場合、入学検定料はそれぞれ必要になります。
- ・本学の推薦入試及びアドミッション・オフィス入試に出願し、不合格になった方が出願する場合も、入学検定料は必要になります。

利用できる方法は以下のとおりです。支払方法によって、入金を確認されるまでに2時間程度かかる場合があります。

- ① コンビニエンスストア
- ② 金融機関ATM（Pay-easy）
- ③ クレジットカード
- ④ ネットバンキング

【入学検定料の免除について】

本学では、東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨及び平成30年北海道胆振東部地震により被災した山梨大学入学志願者の本選抜試験入学検定料の免除措置を行います。免除を申請する方は、事前に教学支援部入試課へお問い合わせください。免除申請書類等の詳細については、山梨大学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）で確認してください。

【入学検定料の返還について】

- ① 医学部医学科の2段階選抜における第1段階選抜不合格者に対しては、検定料のうち13,000円を返還します。返還に関する手続については、第1段階選抜の結果とともに通知します。
- ② 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した方は、検定料のうち13,000円を返還します。
- ③ 上記①、②の場合以外は、いかなる理由があっても、既納の検定料は返還しません。

(4) Web 出願に関する問い合わせ先

教学支援部入試課 電話：055-220-8046

E-mail : web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

(5) 出願書類等

出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷して提出する書類があります。

提出書類	該当提出者	摘 要
調 査 書	全 員	<p>①文部科学省所定の様式により作成し、これに学校長等の職印及び記載責任者の印を必ず押印のうえ厳封してください。保存年限の超過や廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位取得証明書を提出してください。成績証明書又は単位取得証明書が提出できない場合は、学校長が作成した「証明書が発行できない旨の理由書」を提出してください。</p> <p>②高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書をもって調査書に代えてください。なお、高等学校等に在学したことのある方は、在学期間中の調査書、成績証明書、単位取得証明書又は、「証明書が発行できない旨の理由書」のいずれか1つを併せて提出してください。</p> <p>③外国において学校教育における12年の過程を修了した方又これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国におけるバカロレア資格取得者、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国におけるGCE Aレベル資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した方及び修了見込みの方は、その成績証明書をもって代えてください。なお、高等学校等に在籍したことのある方は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。(必要なGCE Aレベルにおける科目数・評価については、教学支援部入試課までお問い合わせください。)</p> <p>④改姓により証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。</p>

大学入試センター試験成績請求票貼付用紙	全 員	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【大学入試センター試験成績請求票貼付用紙】に、大学入試センター発行の『平成 31 センター試験成績請求票』を貼付してください。 前期日程入学志願者…………「 <u>前</u> ・国公立前期日程用」 後期日程入学志願者…………「 <u>後</u> ・国公立後期日程用」
郵便切手貼付用紙（受験票送付用）	全 員	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、362 円分の郵便切手（速達料含む）を過不足なく貼り付けてください。
住 民 票	<u>国籍が日本国以外の方</u>	住居地の市区町村長が交付する住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）を提出してください。
指定した楽譜	教育学部学校教育課程芸術身体教育コース音楽実技者	本要項 24 頁（前期日程）、31 頁（後期日程）の表 1 「実技検査の内容・注意事項」を参照してください。 楽譜の左上に、氏名を明記すること。
活動実績報告書・活動実績報告書証明書類（表紙）	教育学部学校教育課程芸術身体教育コース体育実技者	「活動実績報告書・活動実績報告書証明書類（表紙）の作成要領」に基づき、本学所定の様式により作成してください。 【活動実績報告書証明書類（表紙）】には、【活動実績報告書】に記載した内容を証明する書類を添付してください。 ※作成要領及び様式は、下記の URL よりダウンロードできます。 https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291 本学ホームページ>入試情報>学部入試>募集要項・選抜方法

【留意事項】

- ①出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
- ②出願情報等に事実との相違が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ Web 出願サイトの登録において、志願者連絡先には、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会・通知等を確実に受信できる住所・電話番号を入力してください。なお、出願後、連絡先に変更があった場合は、教学支援部入試課あてに速やかに届け出てください。（氏名・受験番号・志望学科・変更した内容を明記して郵送してください。）
- ④出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所・連絡先以外の出願情報等の登録内容の変更は認めません。また出願書類の返還及び変更も認めません。

5 出願期間

平成31年 1月28日(月)～平成31年 2月6日(水)17時まで *期間内必着

- ・出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受け付けすることはできません。

【出願書類等の提出方法】

- ・出願書類は、郵便局窓口から書留速達郵便で送付してください。郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するよう郵送してください。
- ・やむを得ず郵送が不可能な場合は、2月6日(水)9時から17時の間に教学支援部入試課窓口を持参してください。
- ・Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した角型2号封筒(24cm×33.2cm)に貼ってください。
- ・Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から【出願書類等チェックリスト】を印刷し、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

6 出願書類の郵送先・持参先

山梨大学教学支援部入試課 (P57 甲府キャンパス建物配置図参照)
〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

7 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

(1) 相談の方法

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前にあらかじめ教学支援部入試課に申し出てください。

申し出の内容により相談が必要と思われる場合は、学長あての相談申請書(次の①～⑤の事項を記載したもの(書式は任意))及び⑥、⑦を添付のうえ、平成31年1月4日(金)までに提出してください。

なお、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 試験日程、志望学部、学科、課程・コース、氏名、生年月日、出身学校
- ② 受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
- ③ 出身学校等でとられていた特別措置
- ④ 日常生活の状況
- ⑤ 連絡先(現住所、電話等)
- ⑥ 医師の診断書等、病気・負傷や障害等の状況がわかる文書あるいはそのコピー
- ⑦ 大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」のある方はそのコピー

(2) 相談の期限以降に生じた不慮の事故等による受験上の配慮

事前相談の期限以降に、不慮の事故等で負傷し、新たに身体に障害を有することとなり、受験上又は修学上の配慮が必要となった方は、教学支援部入試課に申し出てください。

(3) 連絡先：山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

8 受験票の発送

受験票は、出願受付期間の最終日から約1週間後に郵送します。前期日程については、2月18日(月)までに、後期日程については、2月21日(木)までに届かない場合は、教学支援部入試課に問い合わせてください。

9 試験場

試験場	実施学部・学科等
甲府キャンパス	教育学部、工学部及び生命環境学部の「前期日程」、「後期日程」、医学部医学科の「後期日程」
東京試験場 (アットビジネスセンター東京駅八重洲通り)	工学部の「前期日程」
名古屋試験場 (愛知大学名古屋キャンパス)	
医学部キャンパス	医学部看護学科の「前期日程」、「後期日程」

(注) 工学部「前期日程」のみ東京試験場及び名古屋試験場を設けます。

収容数に限りがありますのでWeb出願登録完了時に先着順にて受付し、収容数を超えた場合は、甲府キャンパスでの受験となります。試験場の決定は、Web出願サイトのマイページ及び、受験票に記載します。東京試験場及び名古屋試験場での受験者には、案内図等をあわせて送付します。

10 受験上の注意

- (1) 個別学力検査等において、本学が指定した教科・科目を指示どおり受験しなかった方は、選抜の対象となりません。
- (2) 試験前日の14時から16時までの間に試験場を下見することができます。なお、下見は本学の場合は各試験室棟入口、東京試験場（工学部前期日程）及び名古屋試験場（工学部前期日程）の場合は建物入口までとします。いずれの試験場も試験室棟内の下見は認めません。
- (3) 試験当日は、受験生以外（保護者、学校関係者等）の試験室棟内への立入を禁止します。
- (4) 遅刻した場合は、各教科等とも試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時刻は変更しません。
- (5) 受験の際は、「本学の受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を机の上に置いてください。机の上には、黒鉛筆、シャープペンシル（黒い芯に限る）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。
- (6) 「本学の受験票」、「大学入試センター試験受験票」を紛失又は忘れた場合は、試験当日、入学試験事務室又は係員に申し出てください。
- (7) アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除してください。
- (8) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切って、かばん等に入れておいてください。
- (9) 試験日程による試験実施が困難になるような不測の事態（地震や火災、天候等）が発生した場合、本学ホームページに対応措置等を掲載します。



山梨大学ホームページ

<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/11370>

11 不正行為に対する処置

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験のすべての教科・科目の成績を無効とします。

- (1) Web登録情報、提出書類、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の顔写真画像を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (6) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (7) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- (8) 試験時間中に、使用を許可されたもの以外の補助具を使用すること。
- (9) 「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (10) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類や使用を許可されたもの以外の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (11) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (12) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- (13) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (14) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (15) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12 大学入試センター試験受験票

「大学入試センター試験成績請求票」の再発行を受けた場合は、再発行した成績請求票を使用しないと無効になるので注意してください。

試験当日は、本学の受験票のほか、大学入試センター発行の大学入試センター試験受験票を必ず持参してください。なお、大学入試センター試験受験票は、入学手続の際にも必要となりますので、紛失しないよう十分注意してください。

13 合格者の発表等

(1) 第1段階選抜結果の通知

医学部医学科（後期日程）

平成31年2月14日（木）以降速やかに、合格者には本学受験票を、不合格者にはその旨を郵便（速達）により通知するとともに、合格者の教科別及び総点の最高点、最低点、平均点、標準偏差をホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）に掲載します。

なお、電話等による合否の問い合わせには対応しませんが、2月21日（木）までに通知が到着しない場合は、2月22日（金）に教学支援部入試課にお問い合わせください。

また、入学志願者が募集人員の10倍を超えなかった場合は、「第1段階選抜は実施しない」旨をホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）に掲載し、入学志願者全員に本学受験票を郵送します。

(2) 合格者の発表

日程	学 部	日 時	場 所
前期 日程	教育学部 工学部 生命環境学部	平成31年3月6日(水) 16時頃	甲府西キャンパス掲示板 (中央西門より50m付近)
	医学部(看護学科)		医学部キャンパス 看護学科教育研究棟玄関前
後期 日程	教育学部 工学部 生命環境学部	平成31年3月20日(水) 16時頃	甲府西キャンパス掲示板 (中央西門より50m付近)
	医学部		医学部キャンパス 講義棟玄関前(医学科) 看護学科教育研究棟玄関前(看護学科)

合格者の受験番号を上記の場所に掲示するとともに、大学ホームページにも掲載します。（電話等による合否の問い合わせには応じかねます。）

合格者には合格発表当日に、合格通知書及び入学手続関係書類を速達郵便で郵送します。



山梨大学ホームページ

<http://www.nyushi.yamanashi.ac.jp/index.html>

(3) その他

本学の合格通知等に使用する氏名は、原則として大学入試センター試験受験票に記載された氏名を使用します。

(注) 山梨大学では、合否電報を受け付ける行為は、一切行なっておりません。

また、そういった行為を団体・個人に委託することもありますので、これに関するトラブル等があっても本学としては責任を持つことができません。

14 入学手続

(1) 入学手続期間

入試日程	入学手続期間
前期日程	平成31年3月8日(金)～3月15日(金)
後期日程	平成31年3月22日(金)～3月27日(水)

【留意事項】

- ① 入学手続関係書類は、合格通知書とともに郵送します。
- ② 合格者が1つの国公立大学・学部に入入学手続をしたときは、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続をすることはできないので注意してください。
- ③ 指定された入学手続締切期日までに入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものとして取り扱います。
- ④ 入学手続には、大学入試センター試験受験票及び本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 納入金

入学料 282,000円 (予定)

入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

15 授業料

前期分 267,900円 [年額 535,800円] (予定)

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

16 その他の経費

(1) 「学生保険」保険料

授業中、課外活動等学生生活における万一の事故及びインターンシップ・教育実習・臨床実習等での不慮の事故により賠償責任が発生した場合などに対応できる「学生保険」への全員加入を大学の方針としております。本学で取り扱っている「学生保険」は各種あります。保険の種類及び加入方法につきましては、それぞれ保険料を含め、別途案内します。

(2) その他

上記保険料のほかに後援会費、同窓会費及び学友会費等を含めて、教育学部 計64,000円(4年間分)、工学部 計50,000円(4年間分)、生命環境学部 計48,000円(4年間分)、後援会費及び学生会費等を含めて、医学部医学科 計110,000円(6年間分)、医学部看護学科 計66,600円(4年間分)程度の経費が必要です。(教材費等は含みません。)

なお、これらの経費については変更することがあります。

17 追加合格等

合格者の入学辞退等により、入学定員に欠員が生じた場合は、原則として、追加合格により欠員補充を行います。第2次募集により欠員補充を行うこともあります。

実施する場合は、3月28日（木）以降に本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）にて発表します。

(1) 追加合格

① 候補者への連絡

追加合格は、出願登録時の「志願者連絡先」へ電話により通知します。

なお、電話での応答は必ず入学志願者本人が行ってください。

② 実施期間

平成31年3月28日（木）～3月31日（日）

③ 入学手続期間

平成31年3月28日（木）～3月31日（日）（電話により個別に入学手続日を指定します。）

④ 入学手続場所

教学支援部入試課窓口（郵送による手続は受け付けません。）

⑤ 入学手続に必要なもの

大学入試センター試験受験票、本学受験票、顔写真（縦4cm×横3cm）、入学料、印鑑

※入学料・授業料免除及び猶予の申請を希望する方は、入学手続の際にその旨をお知らせください。

(2) 欠員補充第2次募集

欠員補充第2次募集に出願できる方は、平成31年3月24日の時点でいずれの国公立大学にも合格していない方、及び同時点で国公立大学に合格していたが、当該第2次募集出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない方で、大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目等を受験した方に限ります。

なお、欠員補充第2次募集に出願できるのは、一つの大学・学部であり、出願後に他の国公立大学へ入学手続を行った場合、受験しても入学許可は得られません。

実施する場合は、速やかにホームページで発表します。

18 入試情報サービス

各学部の出願状況について、本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）にて、情報提供いたします。

出願状況：平成31年1月29日（火）から2月7日（木）まで。

19 入試情報の開示

平成31年度一般入試（前期日程・後期日程）について、次のとおり開示します。

なお、試験成績開示は不合格者本人の請求により本人のみに開示するものであって、請求者が本人以外の場合には開示しません。

（1）入学試験実施状況として開示される情報

①正解、解答例、出題意図

各科目の正解、解答例、出題意図のいずれかを開示します。

②合格者の成績

合格者の成績の最高点、最低点、平均点をホームページで公表します。

ただし、選考単位当たりの合格者が10人以下の場合を除きます。

（2）不合格者本人の請求に対して開示される個人情報

試験成績を不合格者本人のみに開示します。

①成績開示内容

・教育学部

出願した課程等の合格者最低点からの得点差を5段階（20点刻み）に区分して開示します。面接・実技の評価については開示しません。

・医学部

医学科においては、第1段階選抜総得点及び順位、最終選抜センター得点、個別学力検査得点及びランク（以下の表による区分）を開示します。面接の評価については開示しません。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の者
B	” 20.1～40.0点不足の者
C	” 40.1～60.0点不足の者
D	” 60.1点以上不足の者
E	面接の評価が合格に達しない者

看護学科においては、前期・後期日程について、センター得点及びランク（以下の表による区分）を開示します。個別学力検査等（小論文又は面接）の得点については開示しません。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の者
B	” 20.1～40.0点不足の者
C	” 40.1～60.0点不足の者
D	” 60.1点以上不足の者
E	小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない者

・工学部

大学入試センター試験及び個別学力検査等それぞれの総得点を開示します。
ただし、後期日程の面接の評価については開示しません。

・生命環境学部

前期日程について、大学入試センター試験及び個別学力検査それぞれの総得点及び以下の区分によるランクを開示します。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の者
B	” 20.1～40.0点不足の者
C	” 40.1～60.0点不足の者
D	” 60.1点以上不足の者

後期日程について、大学入試センター試験の総得点及び以下の区分によるランクを開示します。面接の評価については開示しません。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の者
B	” 20.1～40.0点不足の者
C	” 40.1～60.0点不足の者
D	” 60.1点以上不足の者
E	面接の評価が合格に達しない者

②試験成績開示請求方法等

- ・請求方法：不合格者本人が所定の用紙（ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）に掲載）に必要事項を記入のうえ、本学の受験票、返信用封筒（本人の住所・氏名を明記のうえ、簡易書留郵便として392円分の切手を貼り付けた定形封筒）を必ず同封し、大学あて封筒の表には、試験成績開示請求と朱書のうえ申し込んでください。本学受験票を紛失した場合は、身分を証明するもの（運転免許証・健康保険証等の写し）を添付してください。
なお、所定の用紙が入手できない場合は、次の事項を記入した請求書を作成し申し込んでください。
 - 氏名 ●生年月日 ●受験学部・学科等名 ●受験番号
 - 試験日程（前期・後期） ●住所 ●電話番号
- ・請求期間：平成31年5月2日（木）～5月31日（金）まで。（期間内消印有効）
- ・請求先：山梨大学 教学支援部 入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

20 山梨大学大村智記念基金奨学金制度

平成31年4月に山梨大学に入学を希望する新入生を対象に、入学試験の成績を総合的に判断し、優秀であると本学が認めた方に山梨大学大村智記念基金から返還の必要のない奨学金を給付し支援する制度があります。

詳細については、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife>) を参照してください。

概要は以下のとおりです。

対象：一般入試（前期日程）受験者

条件：本学が認める特に優れた成績で合格し、入学した方

給付金額：30万円

21 その他

各キャンパスについて

山梨大学は、甲府キャンパス（教育学部、工学部、生命環境学部）と医学部キャンパス（医学部）があり、両キャンパス間は約10km離れています。

医学部（医学科、看護学科）1年次生は、主として甲府キャンパスにおいて共通科目等を受講しますが、週2日程度は医学部キャンパスにおいて専門科目を受講します。2年次生からは医学部キャンパスにおいて専門科目を中心に受講することとなります。

したがって、住居の選定にあたっては、このことを十分考慮してください。

Ⅱ 教育学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

課程・コース	教科名	科目数	科目の指定	志願者確認欄
学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公民	1	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	1又は2	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 (注) 3と4を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	
学校教育課程 生活社会教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴 ----- 公民	1又は2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の10科目のうちから1科目又は2科目選択 (注) 2と5を参照	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ』、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	1又は2又は3	a 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 b 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択 (注) 3～6を参照	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

学校教育課程 科学教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴 ----- 公民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択（注）2を参照	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 3	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択（注）3と6を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

- (注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- 2 大学入試センター試験の地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 大学入試センター試験の「物理、化学、生物、地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 4 科学教育コース以外のコースにおいて、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」と「物理、化学、生物、地学」の両方を大学入試センター試験で受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 5 生活社会教育コースにおいては、該当する科目を受験している場合、理科aと地理歴史及び公民から2科目の合計点、又は、理科bと地理歴史及び公民から1科目の合計点のいずれか高得点の方をその成績とします。
- 6 生活社会教育コースと科学教育コースにおいては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。
- 7 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。
- 8 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

課程・コース	出題教科等	出題科目等	摘要	
幼小発達教育コース	国語	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B	○	
	数学	数学I・数学A・数学II・数学B		○
	外国語	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		○
障害児教育コース	外国語	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話	◎	
	面接		◎	
言語教育コース	国語	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B	◎	
	外国語	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話	◎	
生活社会教育コース	国語	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B	○	
	数学	数学I・数学A・数学II・数学B	○	
	理科	物理基礎・物理	○	
		化学基礎・化学	○	
		生物基礎・生物	○	
外国語	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話	○		
科学教育コース	数学	数学I・数学A・数学II・数学B	◎	
	理科	物理基礎・物理	○	
		化学基礎・化学	○	
		生物基礎・生物	○	
芸術身体教育コース	実 技		◎	

(注) 1 出題科目等欄の◎印は必須科目を示します。○印は選択科目を示し、出願時に選択してください。

- 2 数学I、数学II、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- 3 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。
- 4 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
- 5 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
- 6 生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

表1 実技検査の内容・注意事項
(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

課程・コース	実 技 検 査 の 内 容 ・ 注 意 事 項
学校教育課程 芸術身体教育コース	<p>以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。</p> <hr/> <p>音楽実技を選択する方 下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.15～No.35より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。（暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p>Ⅱ 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲又は声楽曲を1曲演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合 試験当日楽譜を持参すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 原語で演奏すること。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 電子オルガン（YAMAHA ELS-01C バイタライズユニット Ver.up済み）以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（曲名及び楽器名を明示。）を同封すること。</p> <p>③ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p>美術実技を選択する方 造形表現力の検査 （形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。</p> <p>2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>

体育実技を選択する方

内 容	服 装	用 具
次の全ての領域についての基礎的 運動技能を検査する。 (1)器械運動 (2)陸上競技 (3)球技 (4)武道 (5)ダンス	1 通常の運動着を用意すること。 (更衣室の利用可) 2 運動用シューズは、 グラウンド用と体育 館用の両方を用意す ること。	それぞれの領域の 検査に必要な用具は 大学側で用意する。
(注) 1 「活動実績報告書」に必要事項を記入のうえ、出願書類とともに 提出すること。 2 グラウンド種目は、悪天候等の場合には室内で実施可能な方法で 行う場合がある。 3 実技検査を開始する前に医師が行うメディカル・チェックにおい て、実技の実施に健康上の問題があると判断された際は、実技検 査に関して指示を行う場合がある。		

(3) 配 点

大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

課程・コース		区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	実技	合計	総合計
学 校 教 育 課 程	幼小発達教育コース	大学入試センター試験	100	100	100	100	100	100			600	1,000
		個別学力検査等	(200)			(200)		(200)			400	
	障害児教育コース	大学入試センター試験	100	50	50	150	100	150			600	1,000
		個別学力検査等						100	300		400	
	言語教育コース	大学入試センター試験	100	100	100	100	100	100			600	1,000
		個別学力検査等	200					200			400	
	生活社会教育コース	大学入試センター試験	100	(200) (100)		100	(100) (200)	100			600	1,000
		個別学力検査等	(200)			(200)	(200)	(200)			400	
	科学教育コース	大学入試センター試験	100	100		150	150	100			600	1,000
		個別学力検査等				200	200				400	
	芸術身体教育コース	大学入試センター試験	150	50	50	100	100	150			600	1,000
		個別学力検査等								400	400	

- (注) 1 大学入試センター試験の地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 2 大学入試センター試験の「物理、化学、生物、地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 科学教育コース以外のコースにおいて、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」と「物理、化学、生物、地学」の両方の科目を大学入試センター試験で受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 4 生活社会教育コースにおいては、該当する科目を受験している場合、理科aと地理歴史及び公民から2科目の合計点または理科bと地理歴史及び公民から1科目の合計点のいずれか高得点の方をその成績とします。
- 5 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。
なお、外国語の得点は、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。
- 6 個別学力検査等の()は、選択受験教科の配点を示します。
- 7 生活社会教育コースにおける大学入試センター試験の()は、上段は地理歴史及び公民を2科目と理科aを受験した場合の配点、下段は地理歴史及び公民を1科目と理科bを受験した場合の配点を示します。
- 8 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の詳細については、21～22ページを参照してください。

(4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

課程・コース		区分	採点・評価基準の内容
学校教育課程	障害児教育コース	面接	障害児教育に対する意欲や自己表現力・他者理解力等の各観点から総合的に評価します。
	芸術身体教育コース	実技	音楽実技を選択する方 共通課題及び選択課題を通して、入学後の学習に必要な技能や表現力などを総合的に評価します。
			美術実技を選択する方 造形表現力として形態、色彩、構成力などに関して総合的に評価します。
			体育実技を選択する方 全ての出題領域の基礎的な運動技能を評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

出願したコースにより、試験・検査の開始時間が異なりますので、注意してください。

月 日	検査の区分	課程・コース	時間及び教科・科目				試験場	
			1時限目 9時00分～10時30分 (90分)	2時限目 11時25分～12時55分 (90分)	3時限目 14時00分～15時30分 (90分)	4時限目 16時20分～17時50分 (90分)		
2月25日 (月)	学力	学校教育課程	幼小発達教育コース	○ 国語	○ 外国語		○ 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B	山梨大学 (甲府キャンパス)
			障害児教育コース		◎ 外国語			
			言語教育コース	◎ 国語	◎ 外国語			
			生活社会教育コース	○ 国語	○ 外国語	○ 理科	○ 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B	
			科学教育コース			○ 理科	◎ 数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B	
	実技	芸術身体教育コース	時間					
			9時10分～17時00分					
面接	障害児教育コース	14時00分～17時50分						

- (注) 1 ◎印は、必須科目を示し、○印は、選択科目を示します。
 2 受験する教科・科目の試験開始30分前までに各試験室に集合してください。
 3 実技検査は、芸術身体教育コースについてのみ行います。
 4 実技及び面接検査の終了時刻は、受験者の数によって変わります。

Ⅲ 教育学部（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

課程・コース	教科名	科目数	科目の指定	志願者確認欄
学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公民	1	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	1又は2	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 (注) 3と4を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	
学校教育課程 生活社会教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴 ----- 公民	1又は2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目又は2科目選択 (注) 2と5を参照	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ』、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	1又は2又は3	a 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 b 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択 (注) 3～6を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

学校教育課程 科学教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴 ----- 公民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択（注）2を参照	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 3	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択（注）3と6を参照	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

- (注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- 2 大学入試センター試験の地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 大学入試センター試験の「物理、化学、生物、地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 4 科学教育コース以外のコースにおいて、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」と「物理、化学、生物、地学」の両方を大学入試センター試験で受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 5 生活社会教育コースにおいては、該当する科目を受験している場合、理科aと地理歴史及び公民から2科目の合計点、又は、理科bと地理歴史及び公民から1科目の合計点のいずれか高得点の方をその成績とします。
- 6 生活社会教育コースと科学教育コースにおいては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。
- 7 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。
- 8 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

課程・コース		出題教科・科目等	摘 要
学校教育課程	幼小発達教育コース	面 接	
	障害児教育コース	面 接	
	言語教育コース	面 接	
	生活社会教育コース	面 接	
	科学教育コース	面 接	
	芸術身体教育コース	実 技・面 接	表1を参照 (P31~32)

表1 実技検査の内容・注意事項
(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

課程・コース	実技検査の内容・注意事項
学校教育課程 芸術身体教育コース	<p>以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。</p> <hr/> <p>音楽実技を選択する方 下記のI、IIを受験すること。</p> <p>I 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.15～No.35より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。（暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）IIの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p>II 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲又は声楽曲を1曲演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合 試験当日楽譜を持参すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 原語で演奏すること。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 電子オルガン（YAMAHA ELS-01C バイタライズユニット Ver.up済み）以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（曲名及び楽器名を明示。）を同封すること。</p> <p>③ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p>美術実技を選択する方 造形表現力の検査 （形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。</p> <p>2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>

体育実技を選択する方		
内 容	服 装	用 具
次の全ての領域についての基礎的 運動技能を検査する。 (1)器械運動 (2)陸上競技 (3)球技 (4)武道 (5)ダンス	1 通常の運動着を用意すること。 (更衣室の利用可) 2 運動用シューズは、 グラウンド用と体育 館用の両方を用意す ること。	それぞれの領域の 検査に必要な用具は 大学側で用意する。
(注) 1 「活動実績報告書」に必要事項を記入のうえ、出願書類とともに 提出すること。 2 グラウンド種目は、悪天候等の場合には室内で実施可能な方法で 行う場合がある。 3 実技検査を開始する前に医師が行うメディカル・チェックにおい て、実技の実施に健康上の問題があると判断された際は、実技検 査に関して指示を行う場合がある。		

(3) 配 点

大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

課程・コース		区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	実技	合計	総合計
学 校 教 育 課 程	幼小発達教育コース	大学入試センター試験	200	100	100	200	100	200			900	1,000
		個別学力検査等							100		100	
	障害児教育コース	大学入試センター試験	200	100	100	200	100	200			900	1,000
		個別学力検査等							100		100	
	言語教育コース	大学入試センター試験	200	150	150	100	100	200			900	1,000
		個別学力検査等							100		100	
	生活社会教育コース	大学入試センター試験	200	(200) (100)		200	(100) (200)	200			900	1,000
		個別学力検査等							100		100	
	科学教育コース	大学入試センター試験	100	100		300	300	100			900	1,000
		個別学力検査等							100		100	
	芸術身体教育コース	大学入試センター試験	100	50	50	100	100	100			500	1,000
		個別学力検査等							100	400	500	

- (注) 1 大学入試センター試験の地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 2 大学入試センター試験の「物理、化学、生物、地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 科学教育コース以外のコースにおいて、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」と「物理、化学、生物、地学」の両方の科目を大学入試センター試験で受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 4 生活社会教育コースにおいては、該当する科目を受験している場合、理科aと地理歴史及び公民から2科目の合計点または理科bと地理歴史及び公民から1科目の合計点のいずれか高得点の方をその成績とします。
- 5 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。
なお、外国語の得点は、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。
- 6 個別学力検査等の()は、選択受験教科の配点を示します。
- 7 生活社会教育コースにおける大学入試センター試験の()は、上段は地理歴史及び公民を2科目と理科aを受験した場合の配点、下段は地理歴史及び公民を1科目と理科bを受験した場合の配点を示します。
- 8 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の詳細については、29～30ページを参照してください。

(4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

課程・コース		区分	採点・評価基準の内容
学校教育課程	幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース 芸術身体教育コース	面接	志望動機、目的意識、応答の的確性、論理性、表現力、人間や文化・教育に対する関心の高さ等を総合的に評価します。
	芸術身体教育コース	実技	音楽実技を選択する方 共通課題及び選択課題を通して、入学後の学習に必要な技能や表現力などを総合的に評価します。 ----- 美術実技を選択する方 造形表現力として形態、色彩、構成力などに関して総合的に評価します。 ----- 体育実技を選択する方 全ての出題領域の基礎的な運動技能を評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	検査の区分	課程・コース	時 間	試験場
3月12日 (火)	面 接	学 校 教 育 課 程 幼 小 発 達 教 育 コ ー ス 障 害 児 教 育 コ ー ス 言 語 教 育 コ ー ス 生 活 社 会 教 育 コ ー ス 科 学 教 育 コ ー ス	9時10分～17時00分 (集合時間8時40分)	山梨大学(甲府キャンパス)
	実 技 面 接	学 校 教 育 課 程 芸 術 身 体 教 育 コ ー ス	9時10分～17時00分 (集合時間8時40分)	

- (注) 1 各コースとも受験番号にかかわらず、午前から午後にわたり検査が行われることがありますので昼食や飲み物を持参するようにしてください。
- 2 実技検査は、芸術身体教育コースについてのみ行い、実技検査、面接検査の順で行います。
 なお、芸術身体教育コースの体育実技を選択する方の実技及び面接検査の終了時刻は、17時を過ぎることもあります。

IV 医学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 小論文、面接における採点・評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

3 その他

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者確認欄
看護学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 1	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択、又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』	<input type="checkbox"/>

(注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。

3 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。

なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目等	摘 要
看護学科	小論文・面接	個人面接を行います。

(3) 配 点

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	合計	総合計
看護学科	大学入試センター試験	200	100	200	100	200				800	1,200
	個別学力検査等							*200	*200	400	

(注) 1 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

2 大学入試センター試験の「理科」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

- 3 大学入試センター試験の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から3科目を受験した場合は、『理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点』又は『理科の「基礎を付していない科目」の得点』のうち、いずれか得点の高い成績とします。
- 4 大学入試センター試験の外国語（英語）は、リスニングテストの成績も利用しません。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し利用します。
- 5 ※印は、小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

(4) 小論文、面接における採点・評価基準

学 科	区 分	採 点 ・ 評 価 基 準 の 内 容
看護学科	小論文	事象の観察力、問題発見の能力、バランスのとれた判断力、論理的構想力、表現力、情操、創造性、適応性などをみます。
	面接	また、人間性豊かな看護職及び創造性に富んだ看護学研究者となるにふさわしい適性をみます。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	学 科	検査の区分	時 間	試 験 場
2月25日 (月)	看護学科	小論文	9時00分～10時30分	山梨大学 (医学部キャンパス)
		面接	11時30分～17時00分	

(注) 志願者が多数の場合は、終了時刻が17時を過ぎることがあります。

3 その他

入学手続をした場合、入学当初から休学することは、原則として認められません。

V 医学部（後期日程）

- 1 選抜方法
 - (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
 - (2) 第1段階選抜
 - (3) 個別学力検査等
 - ① 個別学力検査実施教科・科目等
 - ② 配点
- 2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等
- 3 山梨県医師修学資金貸与制度の概要
- 4 その他

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
医 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』	<input type="checkbox"/>
看護学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 1	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択、又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。

3 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。

なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 第1段階選抜

医学部医学科においては、大学入試センター試験の成績と調査書の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

なお、大学入試センター試験の配点は下記のとおりとし、調査書は総合判定の資料とします。

国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
200	100		200	200	200	900

※センター試験の成績の利用については、38ページ「②配点」の(注)1、4のとおりとします。

(3) 個別学力検査等

医学部医学科においては、第1段階選抜の合格者に対して、医学部看護学科においては、入学志願者全員に学力検査等を実施します。

① 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目等			摘 要
医 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・数学A・ 数学B	必須	3つの科目群のうちから2つ選択 (出願時に選択してください。)
	理 科	物理基礎・物理	選択	
		化学基礎・化学	選択	
		生物基礎・生物	選択	
	面 接		必須	
看護学科	面 接		必須	個人面接を2回行います。

(注) 1 数学及び理科の試験では、単に高等学校で学んだ知識や計算力をみるのではなく、観察力、理解力、思考力、理論的構想力、表現力などもみます。

2 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。

3 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

4 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

5 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

6 生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

② 配 点

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	総合計
医 学 科	大学入試センター試験	200	100		100	100	300		800	2,000
	個別学力検査等				600	600		※1	1,200	
看護学科	大学入試センター試験	200	100		200	100	200		800	1,200
	個別学力検査等							400 (個人) ※2	400	

(注) 1 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

- 2 大学入試センター試験の「理科」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 大学入試センター試験の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から3科目を受験した場合は、『理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点』又は『理科の「基礎を付していない科目」の得点』のうち、いずれか得点の高い成績とします。
- 4 大学入試センター試験の外国語（英語）は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮したうえ、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。
- 5 ※1は、人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性などを総合的に評価します。なお、面接の評価が合格に達しない方は、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等の成績に関わらず、不合格となります。
- 6 ※2は、人間性豊かな看護職及び創造性に富んだ看護学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性などを総合的に評価します。なお、面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。また、面接は個人面接を2回行います。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	学 科	検査の区分	時 間	摘 要	試験場
3月12日 (火)	医 学 科	数 学	9時00分～11時00分		山梨大学 (甲府キャンパス)
		理 科	12時30分～14時30分		
		面接(集団)	15時30分～18時15分		
		※面接(個人)	15時45分～19時頃		
3月14日 (木)	看護学科	面 接 (個 人)	9時00分～18時00分	各受験者の面接は、午前の部と午後の部のいずれかで行います。	山梨大学 (医学部キャンパス)

面接の終了時刻は、受験者数により変更になる場合があります。

※面接員が必要と認めた場合は、集団面接後に個人面接を行います。

3 山梨県医師修学資金貸与制度の概要

本制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。

貸与を受けた医学生が、医師免許取得後、(3)に示す返還免除要件を満たした場合、修学資金の返還が免除されます。

(1) 対象

山梨大学医学部医学科入学者（推薦入試地域枠入学者が優先されます。）

(2) 貸与額

① 第一種 月額 50,000円（推薦入試地域枠入学者が優先されます。）

② 第二種 月額 130,000円（推薦入試地域枠入学者が優先されます。）

(3) 返還免除について

次の条件を満たした場合は、貸与金の返還は全額免除になります。満たさない場合は、全額一括返還となります。

〈共通〉卒業後、2年以内に医師免許を取得すること。

医師免許取得後、山梨県内の病院（山梨県のホームページを参照。）が実施する2年間の初期臨床研修を修了すること。

① 第一種 医師免許取得後、6年の期間内に、3年間山梨県内の公立病院等（本学医学部附属病院を含む。）において医師の業務に従事すること。

（山梨県内病院での初期臨床研修期間（2年間）も含まれます。）

② 第二種 医師免許取得後、15年の期間内に、9年間（6年間貸与を受けた場合）、山梨県地域医療支援センター^(注1)で調整後に知事が指定する山梨県内の特定公立病院等（本学医学部附属病院を含む。）^(注2)において医師の業務に従事すること。

（山梨県内病院での初期臨床研修期間（2年間）も含まれます。）

（注1）：山梨県地域医療支援センターは、本人のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保を支援するため、山梨大学医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関です。

（注2）：知事が指定する病院はキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間県内の医師不足病院において医師として従事する必要があります。

◆下線部は平成27年度以降に新規に契約をした方に適用されます。

※ 推薦入試（地域枠）入学者については、医師修学資金貸与制度の規定に準じた一定期間、必ず山梨県内の医療機関（本学医学部附属病院を含む。）において医師の業務に従事しなければなりません。また、山梨県医師修学資金を一括返済しても、山梨県内で医師として業務に従事する期間は短縮されません。

※詳細は山梨県のホームページで確認願います。

<http://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html>

(4) 照会先

山梨県福祉保健部医務課医療企画担当 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 TEL055-223-1480

(5) 申込先

〈甲府キャンパス〉

山梨大学教学支援部学生支援課奨学支援グループ

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 TEL 055-220-8053・8054

〈医学部キャンパス〉

山梨大学医学域学務課学生グループ

〒409-3898 中央市下河東1110 TEL 055-273-9334

4 その他

- (1) 入学手続をした場合、入学当初から休学することは、原則として認められません。
- (2) 医学科においては、臨床実習を行うに当たり実習に必要な知識・態度・技能が身についているかを評価するため、全国共用試験（CBT及びOSCEを4年次に実施）を受験します。ただし、1人1回25,000円（平成29年度時点）の経費が必要となります。

VI 工学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 第1志望学科と第2志望学科の組合せ表
- (4) 配点

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 工 学 科 情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 工 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」	<input type="checkbox"/>
	外 国 語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

- (注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- 2 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。
- 3 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出 題 科	出 題 科 目 群	摘 要
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	必須
	理 科	物理基礎・物理	必須
コ ン ピ ュ ー タ 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 先 端 材 料 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	必須
	理 科	物理基礎・物理	2つの科目群「物理基礎・物理」または「化学基礎・化学」のうちから1つ選択（出願時に選択してください。）
化学基礎・化学			
応 用 化 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	必須
	理 科	化学基礎・化学	必須

- (注) 1 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- 2 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

- 3 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
- 4 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
- 5 個別学力検査の「理科」で、「物理基礎・物理」を受験する方は、機械工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、情報メカトロニクス工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科の間で、また、「化学基礎・化学」を受験する方は、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、応用化学科、先端材料理工学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。（下表参照）

(3) 第1志望学科と第2志望学科の組合せ表

第1志望学科	個別学力検査「理科」の受験科目	第2志望とできる学科 (第1志望学科を除く。)
機械工学科 電気電子工学科 情報メカトロニクス工学科	物理基礎・物理	機械工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科
コンピュータ理工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科	物理基礎・物理	機械工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科
	化学基礎・化学	コンピュータ理工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科
応用化学科	化学基礎・化学	コンピュータ理工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科

(4) 配点

大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計	総合計
機械工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科	大学入試 センター試験	200	100		200	200	200	900	1,300
	個別学力検査等				250	150		400	

(注) 1 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	教科・科目群		時 間	試 験 場		
2月25日 (月)	数学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	10時00分～12時00分 (120分)	山梨大学 (甲府キャンパス)	東京 試験場	名古屋 試験場
	理 科		14時00分～15時30分 (90分)			

◎ 東京試験場：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り（JR東京駅「八重洲口」より徒歩15分）
中央区八丁堀1-9-8 八重洲通りハタビル5、6階

◎ 名古屋試験場：愛知大学名古屋キャンパス（JR名古屋駅「桜通口」より徒歩15分
あおなみ線ささしまライブ駅より徒歩3分）
名古屋市中村区平池町4-60-6

(注) 1 工学部「前期日程」のみ東京試験場及び名古屋試験場を設けます。収容数に限りがありますのでWeb出願登録完了時に先着順にて受付し、収容数を超えた場合は、甲府キャンパスでの受験となります。試験場の決定は、Web出願サイトのマイページ及び、受験票に記載します。東京試験場及び名古屋試験場での受験者には、案内図等をあわせて送付します。

2 東京試験場のアットビジネスセンター東京駅八重洲通り及び名古屋試験場の愛知大学は、本学が試験場として借用しているだけです。入試に関する問い合わせはできません。問い合わせについては、山梨大学教学支援部入試課にお問い合わせください。

3 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。受験する試験場は、受験希望試験場と異なる場合がありますので、受験票を必ず確認してください。

VII 工学部（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接における評価

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」	<input type="checkbox"/>
	外 国 語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

- (注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- 2 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。
- 3 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。
- 4 全学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	面 接

(3) 配 点

大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	総合計
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 情 報 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	200	100		300	300	200		1,100	1,100
	個 別 学 力 検 査 等							(注) 3		

- (注) 1 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。
- 3 面接は、複数の面接員により行います。合格者の判定は、面接員の少なくとも1人が面接判定基準を満たしていると判定した受験者の中から、大学入試センター試験の成績に基づき合格者を決定します。

(4) 面接における評価

学 部	評価の内容
工 学 部	工学及び志望学科の専門分野に関する関心の高さ、学ぶ意欲、応答の論理性、表現の的確さ、チャレンジ精神等を評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	集合時間	検査の区分	時 間	試 験 場
3月12日 (火)	9時	面 接	9時10分～17時00分	山梨大学 (甲府キャンパス)

VIII 生命環境学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) その他

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者確認欄
生命工学科 地域食物科学科 (ワイン科学特別コースを含む) 環境科学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
地域社会システム学科 (観光政策科学特別コースを含む)	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民 ----- 理 科	2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公 民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	
	理 科	3教科から2科目選択	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、基礎を付した科目から、1または2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」であり、基礎を付した科目については、2科目で1科目とみなす。	
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 地域社会システム学科においては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。

3 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。

4 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出題教科	出題科目	備 考
生 命 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・ 数学B・数学Ⅲ	必須
	理 科	化学基礎・化学 生物基礎・生物	選択 選択 化学基礎・化学、生物基礎・ 生物から1科目選択
地 域 食 物 学 科 (ワイン科学特別コースを含む)	数 学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・ 数学B	必須
	理 科	化学基礎・化学 生物基礎・生物	選択 選択 化学基礎・化学、生物基礎・ 生物から1科目選択
環 境 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・ 数学B	必須
	理 科	物理基礎・物理	選択
		化学基礎・化学 生物基礎・生物	選択 選択 物理基礎・物理、化学基礎・ 化学、生物基礎・生物から 2科目選択
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (観光政策科学特別コースを含む)	外 国 語	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話	必須
	国 語	国語総合・国語表現・現代文A・ 現代文B・古典A・古典B	選択 国語、数学から1教科選択
	数 学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・ 数学B	

- (注) 1 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
 2 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。
 3 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
 4 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
 5 生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

(3) 配 点

大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計	総合計
生 命 工 学 科	大 学 入 試 センター試験	200	100		200	200	200	900	1,400
	個別学力検査等				300	200		500	
地 域 食 物 学 科 (ワイン科学特別コースを含む)	大 学 入 試 センター試験	100	100		200	200	250	850	1,150
	個別学力検査等				100	200		300	
環 境 学 科	大 学 入 試 センター試験	200	100		200	200	200	900	1,350
	個別学力検査等				150	300		450	
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (観光政策科学特別コースを含む)	大 学 入 試 センター試験	200	[100]	[100]	200	$\left[\begin{matrix} 100 \\ \text{又は} \\ 200 \end{matrix} \right]$	200	800	1,400
	個別学力検査等	(300)			(300)		300	600	

- (注) 1 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入試センター試験の「地歴」、
 「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその
 の成績とします。

- 2 [] は、選択科目の配点を示します。大学入試センター試験の「地歴」、「公民」、「理科」から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
- 3 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、外国語の得点は、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。
- 4 () は、選択受験教科の配点を示します。

(4) その他

- 1 地域食物科学科ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科を第2志望とすることが可能です。
- 2 地域社会システム学科観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科を第2志望とすることが可能です。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	学 科	教 科 ・ 科 目			時 間	試 験 場	
2月25日 (月)	生 命 工 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B 数学Ⅲ			◎	10時00分～12時00分 (120分)
		理 科	化学基礎・化学 生物基礎・生物			○	14時00分～15時30分 (90分)
	地 域 食 物 科 学 科 (ワイン科学特別コースを含む)	理 科	化学基礎・化学 生物基礎・生物			○	14時00分～15時30分 (90分)
		数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B			◎	16時20分～17時50分 (90分)
	環 境 科 学 科	理 科	1 科 目 目	物理基礎 ・ 物理	化学基礎 ・ 化学	◎	12時00分～13時30分 (90分)
			2 科 目 目	化学基礎 ・ 生物基礎 ・ 生物	生物基礎 ・ 生物	◎	14時00分～15時30分 (90分)
		数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B			◎	16時20分～17時50分 (90分)
	地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (観光政策科学特別コースを含む)	国 語	国語総合・国語表現・ 現代文A・現代文B・ 古典A・古典B			○	9時00分～10時30分 (90分)
		外 国 語	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・ 英語会話			◎	11時25分～12時55分 (90分)
		数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B			○	16時20分～17時50分 (90分)

山梨大学
(甲府キャンパス)

(注) 1 ◎印は、必須科目を示し、○印は、選択科目を示します。

2 環境科学科の受験者は、理科1科目目の検査開始時から理科2科目目の検査終了時まで退室できません。(監督者の指示に従いトイレに行くことは可能です。)

なお、2科目目の開始時刻は、選択者の数により遅れることがあります。

3 環境科学科の受験者は、1科目目は、物理基礎・物理または化学基礎・化学から1科目必須、2科目目は、1科目目が物理基礎・物理の場合、「化学基礎・化学または生物基礎・生物」から1科目必須、1科目目が化学基礎・化学の場合、生物基礎・生物が必須となります。

Ⅸ 生命環境学部（後期日程）

1 選抜方法

- （1）大学入試センター試験の受験を要する教科・科目
- （2）個別学力検査実施教科・科目等
- （3）配点
- （4）面接における評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学が行う個別学力検査等の各成績及び出身学校長から提出される調査書の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
生 命 工 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』、の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	
地 域 食 物 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	
環 境 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』、の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択			<input type="checkbox"/>	

	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
地域社会システム学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴	2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公 民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	
	理 科		3教科から2科目選択 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、基礎を付した科目から、1または2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」であり、基礎を付した科目については、2科目で1科目とみなす。	
	数 学	2	「数学Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 『 』内に記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 地域社会システム学科においては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。

3 外国語『英語』には、リスニングテストが含まれます。

4 出願する際は、「志願者確認欄」で本学が必要とする教科・科目を受験しているか確認してください。なお、本学が指定した教科・科目の一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目
生 命 工 学 科	面 接
地 域 食 物 科 学 科	
環 境 科 学 科	
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	

(3) 配点

大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	総合計
生 命 工 学 科	大 学 入 試 センター試験	200	100		300	300	200		1,100	1,100
	個別学力検査等							※		
地 域 食 物 科 学 科	大 学 入 試 センター試験	100	50		200	400	250		1,000	1,000
	個別学力検査等							※		
環 境 科 学 科	大 学 入 試 センター試験	200	100		200	200	200		900	900
	個別学力検査等							※		
地域社会システム学科	大 学 入 試 センター試験	200	[100]	[100]	200	$\left[\frac{100}{200} \right]$	200		800	800
	個別学力検査等							※		

(注) 1 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

2 [] は、選択科目の配点を示します。大学入試センター試験の「地歴」、「公民」、「理科」から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。

3 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、リスニングテストの成績も利用します。利用にあたっては、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、外国語の得点は、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。

4 ※印については、面接試験及び大学入試センター試験の成績により選考します。

(4) 面接における評価基準

学 科	評 価 基 準 の 内 容
生 命 工 学 科	生物や化学への興味の強さ、目的意識や問題解決能力、論理性、試問に対する応答や表現の明確さ等を総合的に評価します。
地 域 食 物 科 学 科	農業や食品産業への興味の強さ、目的意識、論理性、適性等を総合的に評価します。
環 境 科 学 科	環境と人間社会の関係を総合的に学ぶための目的意識、および適性、ならびに基礎知識、応答の的確性、論理性、表現力を評価します。
地域社会システム学科	志望動機、目的意識、応答の的確性、論理性、表現力を総合的に評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

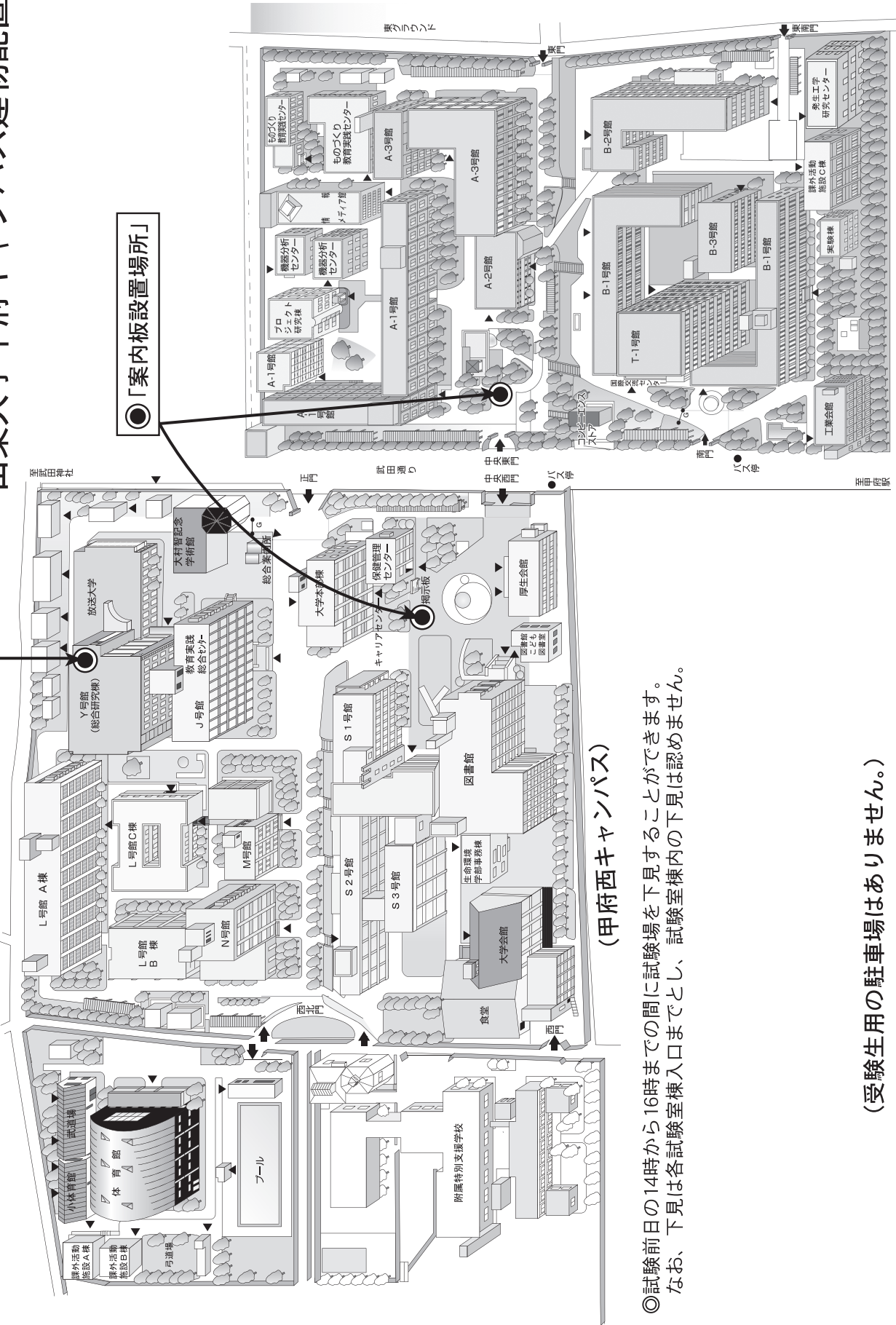
月 日	集合時間	検査の区分	時 間	試 験 場
3月12日 (火)	9時	面 接	9時10分～17時00分	山梨大学 (甲府キャンパス)

集合場所に入室後は、トイレの利用等やむを得ないと認められる場合を除き、試験終了後まで室外に出ることはできません。そのため、各自、昼食と飲み物を持参してください。

また、試験進行の状況により終了時刻は前後します。

山梨大学甲府キャンパス建物配置図

出願書類持参窓口 入試課(総合研究棟2階)
持参受付日: 2月6日(水) 9時~17時

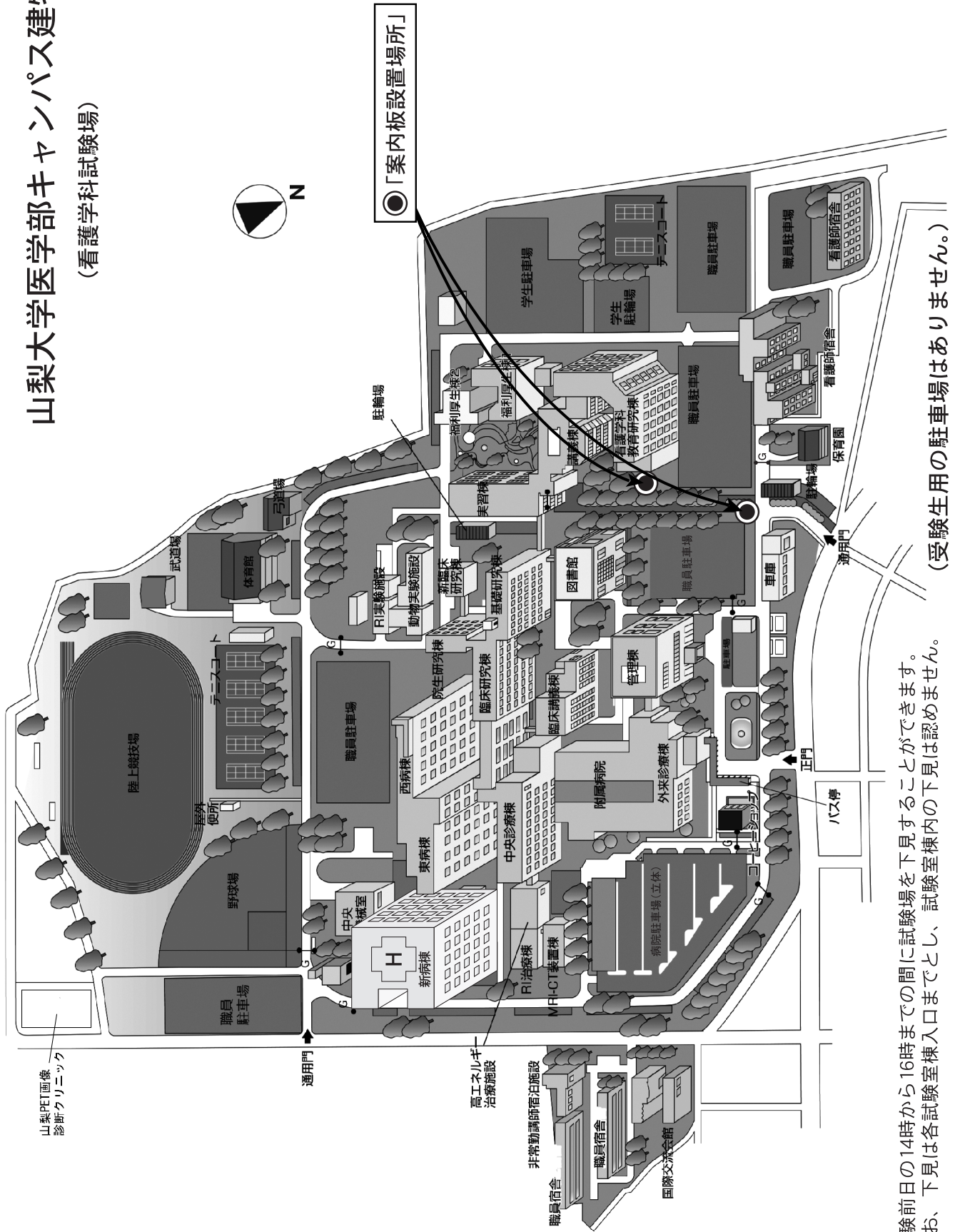


◎試験前日の14時から16時までの間に試験場を下見することができます。
なお、下見は各試験室棟入口までとし、試験室棟内の下見は認めません。

(受験生の駐車場はありません。)

山梨大学医学部キャンパス建物配置図

(看護学科試験場)



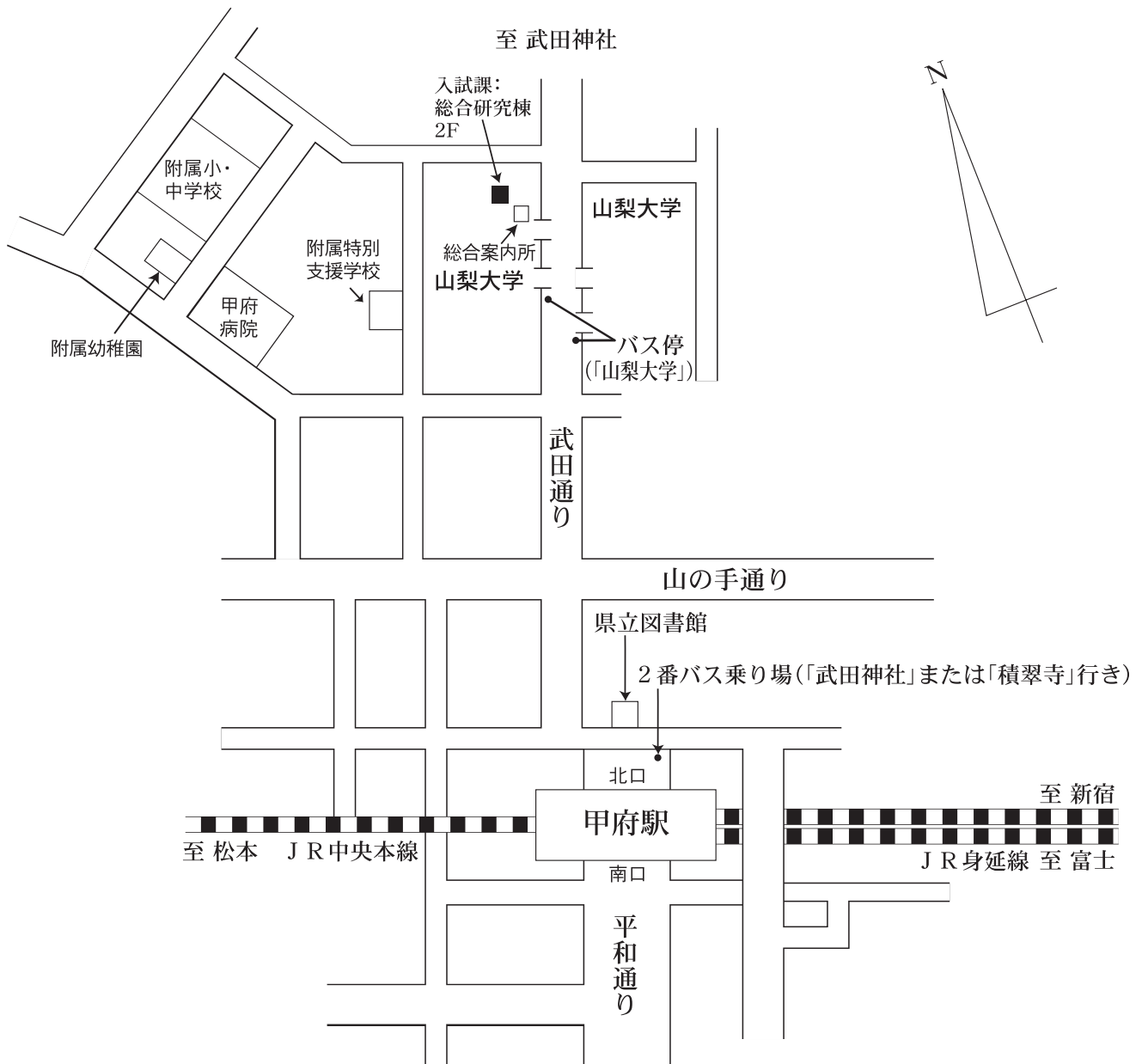
◎試験前日の14時から16時までの間に試験場を見ることができません。
 なお、下見は各試験室棟入口までとし、試験室棟内の下見は認めません。

(受験生の駐車場はありません。)

山梨大学甲府キャンパス周辺図

J R 甲府駅下車、北口から徒歩約15分

J R 甲府駅下車、北口からバスで約5分(「武田神社」または「積翠寺」行き) 山梨大学下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
また、送迎等で近隣の店舗を利用することや、無断駐車をすることは迷惑行為になります
のでお止めください。

山梨大学医学部キャンパス周辺図

山梨大学医学部

[〒409-3898 山梨県中央市下河東1110]

(甲府方面から)

○JR利用

甲府駅から身延線上に乗車。(所要時間約20分)
常永駅下車、徒歩約15分。

○バス利用

甲府駅南口バスターミナル3番のりばから
「山梨大学医学部附属病院」行きに乗車、
「山梨大学医学部附属病院」にて下車。
(所要時間約30分)

(富士方面から)

○JR利用

富士駅から身延線下りに乗車。(所要時間約2時間)
常永駅下車、徒歩約15分。

(注意)

1. 常永駅には特急は停車しません。
2. 駐車場は用意してありません。
3. 電車、バスの本数は1時間に1~2本程度です。



Web出願利用ガイド

出願期間内に、「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「提出が必要な出願書類の郵送」の全てが完了している必要があります。いずれか1つでも出願期間中に完了していない場合は、出願を受理することができませんのでご注意ください。

STEP 1

Web出願の事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットなど**
OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビシステム社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。
- ②利用可能なメールアドレス**
パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。
- ③A4サイズの印刷が可能なプリンター**
出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- ④事前に準備できる出願書類**
「活動実績報告書」などは発行に時間がかかる場合があります。山梨大学ホームページから事前に様式を印刷し、早めに出身高校等に申請手続きをしてください。
- ⑤市販の角2封筒・362円分の切手**
封筒は出願書類の送付に必要です。切手は362円過不足なく用意してください。
- ⑥写真**
3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4：横3(縦800ピクセル×横600ピクセル推奨)、JPEG形式の写真を用意してください。



STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLより30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

入試情報の登録 ※出願期間中のみ登録できます。

画面の案内に従って入試情報(入試種別、志望学部・学科、受験科目、写真など)を登録してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から①コンビニエンスストア、②金融機関ATM(Pay-easy)、③ネットバンキング、④クレジットカードのいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。支払い方法によって入金確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・郵送

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。「郵便切手貼付用紙」に用意しておいた切手を、用意しておいた封筒に「封筒貼付票」を貼り、「出願書類等チェック表」を確認しながら書類を入れ、郵便局窓口から書留速達で山梨大学入試課に郵送してください。



出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ

山梨大学入試課

☎055-220-8046

✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp